

あなたの在宅生活をサポートします

ケアマネかがやき

第284号

令和6年11月発行

萩市指定居宅介護支援事業所

かがやき

TEL 24-4717

～ 大名行列について ～

毎年11月には、萩時代まつりが開催され、同日の金谷天満宮大祭では「萩大名行列」が奉納されます。この奉納行列は江戸時代から続いているそうですが、そもそも大名行列とはどのようなものなのでしょうか？

★ 大名行列とは ★

大名が公用で外出する際に整えた行列のこと。1年おきに領地から江戸へ参勤する「参勤交代」が代表的です。



★ 大名行列の歴史 ★

元々は合戦時の行軍に準じたものでしたが、江戸時代になり、政治が安定してくると将軍に対する忠誠心を示すための儀式となりました。三代将軍 家光の時代に制度化され、大名の権威や藩の力を誇示するため、段々と華美になっていったそうです。

城下町の様子



★ 行列の様子 ★

藩主は駕籠かごに乗り、騎馬・徒歩の武士、鉄砲弓などの足軽、道具箱や槍持ちなどの中間ちゅうげん（人足）、草履取、医師などの大名身辺に仕える者たちなどが連なりました。



萩博物館には、長州藩の参勤交代の様子を描いた錦絵があり、総勢およそ1,000人の行列だったといわれているそうです。

～お誕生日おめでとうございます～

※ご本人またはご親族の方の承諾を得た方のみ掲載しています

★ 萩大名行列 ★

開催日：令和6年11月10日(日)

萩大名行列は、毎年11月の金谷天満宮大祭において、江戸時代から奉納されてきました。当初は、平安古、河添、古萩、浜崎の四町が奉納していましたが、現在では平安古と古萩の二町で受け継がれています。



～見どころ～

奴姿や袴に裃姿の者に御駕籠が従う構成です。



「平安古備組」

「イサヨ～シ」の掛け声とともに、次々に毛槍を投げ渡し、道具類の持ち手を交代しながら沿道を練り歩きます。沿道の要所では、御駕籠の前で草履を持って踊る「草履舞」や長さ約5.5mの長柄の一本槍を豪快に操作する「長州一本槍」が披露されます。



「古萩町大名行列」

羽織・袴で盛装した「旦那」と呼ばれる男の子が馬に乗って一緒に行進します。

